



宮城県業務説明会 畜産

Miyagi
Prefectural
Government

畜産職の仕事

- 牛や豚など家畜の生産環境の整備
- 飼養管理技術・環境・経営・流通などの指導助言
- 和牛改良・飼料作物の栽培などの試験研究

配属先

- 本庁各課（畜産課など）
- 地方機関
（家畜保健衛生所、農業改良普及センター、畜産試験場など）

自己紹介 県内出身

H30.3月 **岩手大学卒業**

H30.4月～ **畜産試験場 草地飼料部**

牧草や飼料とうもろこしの品種適応性試験の実施など

H31.4月～ **大河原家畜保健衛生所 指導班**

和牛改良に係る指導巡回、人工授精師等の届出手続きなど

R4.4月～ **美里農業改良普及センター 地域農業班**

美里地域の畜産振興、新規就農者の経営安定支援など

R7.4月～ **農政部 畜産課 草地飼料班**

自給飼料の利用促進、堆肥の活用促進

志望動機

なぜ公務員だった？

畜産業における様々な分野（飼養管理、自給飼料生産、新規就農支援など）に携わってみたいかったから

なんで宮城県庁を選んだ？

大学で学んだことを活かして、地元に貢献したかった
農畜産物の魅力が多い県だと思った

担当した仕事

畜産課草地飼料班

飼料作物の普及に向けた実証展示ほの
設置及び各種調査

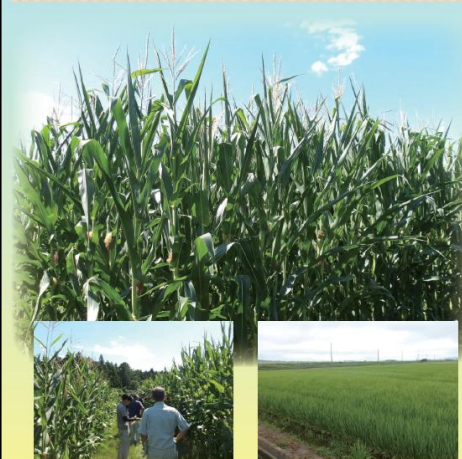
担当業務

- ・ 県内栽培に適する飼料作物品種のPR
- ・ 自給飼料生産に向けた事業の実施
- ・ 経営基盤拡大（施設整備・機械導入）
に向けた支援



飼料作物

奨励品種の紹介



令和8年4月
宮城県農政部畜産課

大変だったこと

- 展示ほ設置に係る各種調整業務
予算関係や、現地検討会等の実施に係る調整に苦労した。
- 異動先での仕事に慣れること
仕事の内容がガラッと変わることがある。
良くも悪くも新鮮味が強い。

やりがい、心掛けていること

時間が許す限り 丁寧に 仕事をする！
(来年の自分や後任が困らないように)

分からないことは、詳しい人に聞く
(ある程度下調べはした上で)

1日のスケジュール

8:30 出勤

9:00 会議資料の最終チェック
国への提出書類作成

12:00 昼休み

13:00
担当者会議の開催

16:00 会議報告書作成
明日の予定確認・書類作成

17:15 退勤

働き方・休み方

社会人オーケストラへの参加
高校時代から続けている
マンドラテノールの演奏を
楽しんでいます。



入庁前のイメージとギャップ

- 入庁前のイメージ
気難しい人ばかりだったらどうしよう
お役所仕事ばかりかもしれない
- 入庁後
年齢性別に関わらず、話しやすい人が多い
形式ばった業務もあるが、同じくらい外回りや
県民と直接関わる仕事が多い

職場の雰囲気

職位に関係なく
業務に関する物事を
気軽に相談しやすい雰囲気です



働いて感じる宮城県職員の魅力

- 宮城県の良いところを知ることができる
地元出身でも意外と知らないことが多く、学ぶことが多い
各種イベントや観光場所に触れられる
- 様々なことにチャレンジできる
現場での技術指導から県政策立案まで、
多彩な分野の業務を経験できる

私の公務員試験対策

- 公務員試験対策セミナーに参加
- 人事院や県で公開している過去問を活用
- 県だけではなく、国家総合職や一般職、専門（食品衛生系）の試験も受験
- 友人に協力してもらい、面接や集団討論の練習
- 農業新聞などで、農業情勢などの情報収集

みなさんへのメッセージ

畜産業は宮城県の重要な産業の一つです

大変なことも少なくないですが、これまでの経験を通して、多くを学び、県の畜産業振興に貢献できていると感じています。

せっかく説明会に御参加いただいたので、これから宮城県のことをたくさん知っていただき、よろしければ将来一緒に働くことができればと思います。